

石川県地震概況（令和3年5月）

令和3年6月9日
金沢地方気象台

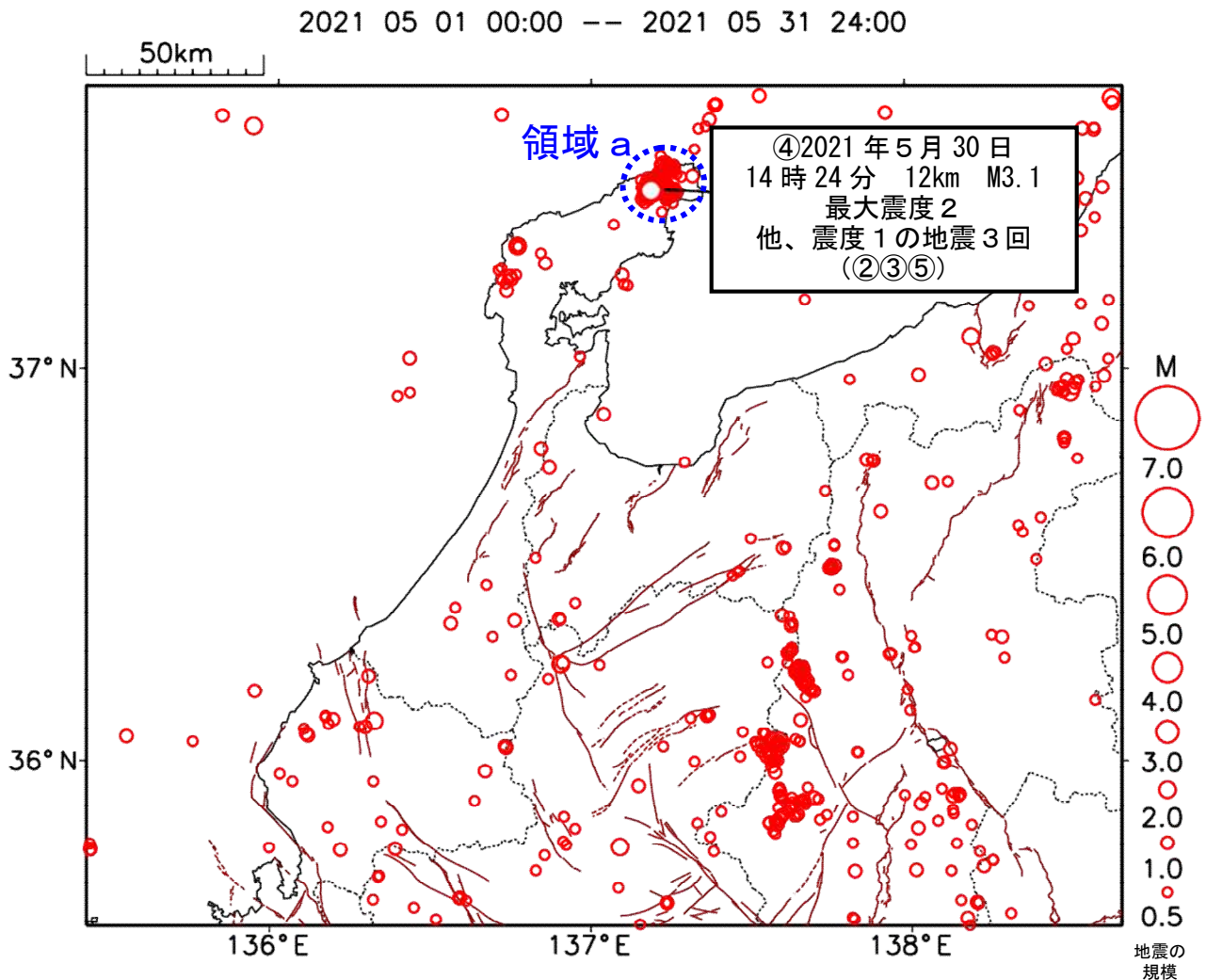
1. 概況

令和3年（2021年）5月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回でした。

石川県能登地方（下図の領域a）付近では30日に珠洲市などで震度2を観測するなど、震度2～1の地震を4回観測しました。この付近では引き続き地震活動が継続しています。これらの地震は地殻内で発生しています（5項第2図参照）。

1日10時27分に宮城県沖の深さ51kmでM6.8の地震（図の領域外）が発生し、宮城県で震度5強を観測したほか、県内では輪島市鳳至町、珠洲市正院町で震度1を観測しました。この地震により、宮城県などで軽傷者4名などの被害が発生しました（5月10日 総務省消防庁）。この地震は陸のプレートと太平洋プレートの境界で発生しました。

2. 震央分布図



第1図 令和3年(2021年)5月の深さ0～30km、M0.5以上の地震の震央分布図
※(図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す)
※①などの数字は3項「震度1以上を観測した地震の表」の地震を示す。

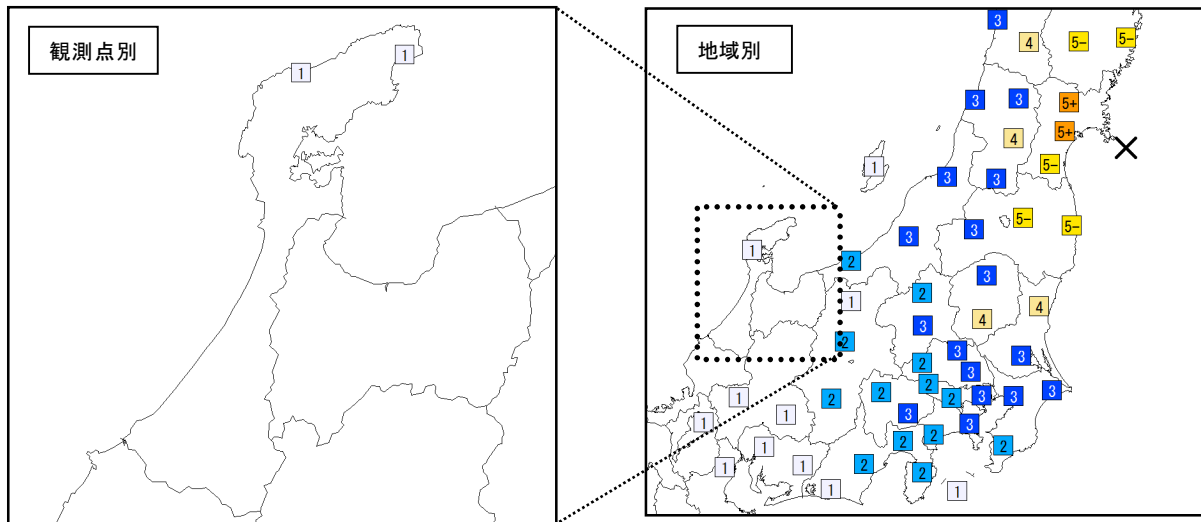
3. 令和3年(2021年)5月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

地震の発生日時	震央地名	緯度	経度	深さ	地震の規模
① 5月1日10時27分	宮城県沖	38° 10.4′ N	141° 44.4′ E	51 km	M 6.8
震度1 : 輪島市鳳至町, 珠洲市正院町*					
② 5月14日05時23分	石川県能登地方	37° 27.9′ N	137° 11.3′ E	12 km	M 3.0
震度1 : 珠洲市正院町*, 能登町松波*					
③ 5月27日02時50分	石川県能登地方	37° 27.9′ N	137° 11.2′ E	12 km	M 2.9
震度1 : 珠洲市正院町*, 珠洲市大谷町*					
④ 5月30日14時24分	石川県能登地方	37° 27.8′ N	137° 11.4′ E	12 km	M 3.1
震度2 : 珠洲市正院町*, 震度1 : 珠洲市三崎町, 珠洲市大谷町*, 能登町松波*					
⑤ 5月31日20時04分	石川県加賀地方	36° 21.5′ N	136° 33.5′ E	5 km	M 1.9
震度1 : 白山市別宮町*					

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

*の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

4. 令和3年(2021年)5月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図



①5月1日10時27分の宮城県沖の地震
(石川県周辺)

①5月1日10時27分の宮城県沖の地震
(広域)

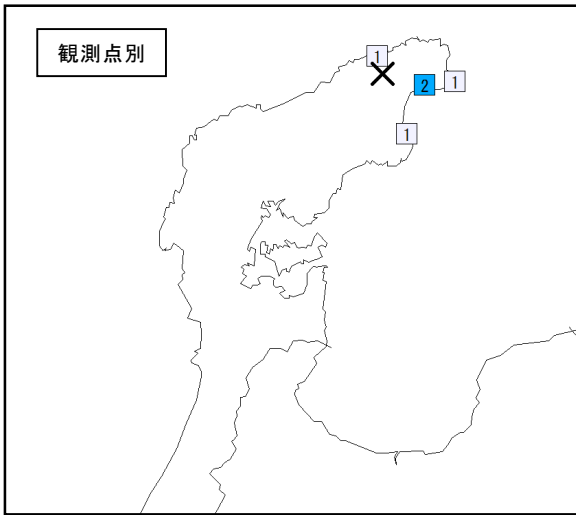


②5月14日05時23分の石川県能登地方の地震
(石川県周辺)

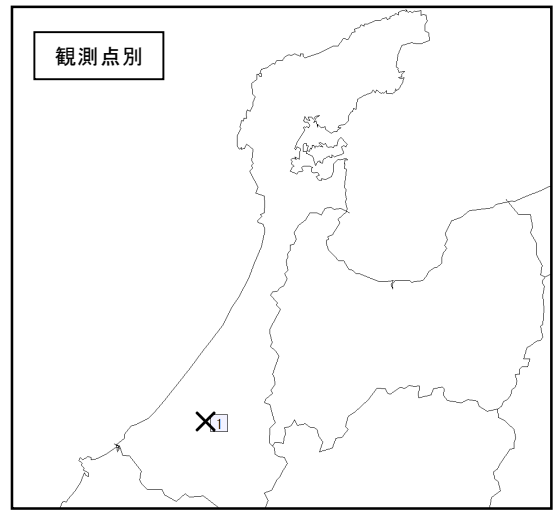


③5月27日02時50分の石川県能登地方の地震
(石川県周辺)



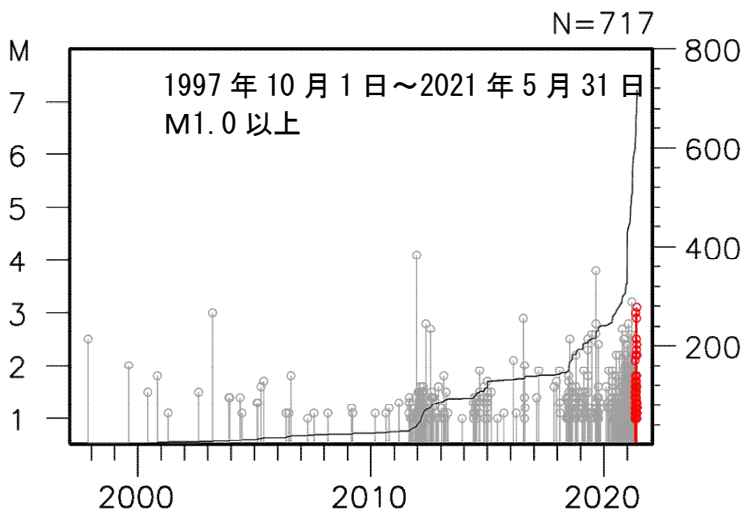


④5月30日14時24分の石川県能登地方の地震
(石川県周辺)

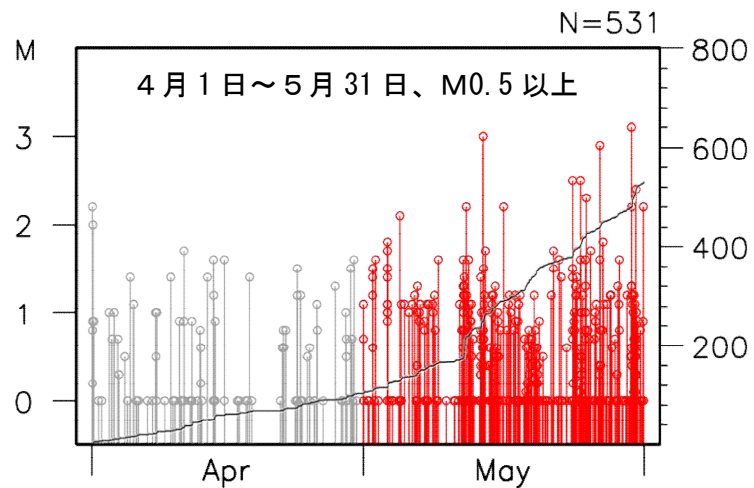


⑤5月31日20時04分の石川県加賀地方の地震
(石川県周辺)

5. 石川県能登地方の地震（2. 震央分布図中の領域a内）の地震活動



第2図 地震活動経過図及び、地震回数積算図

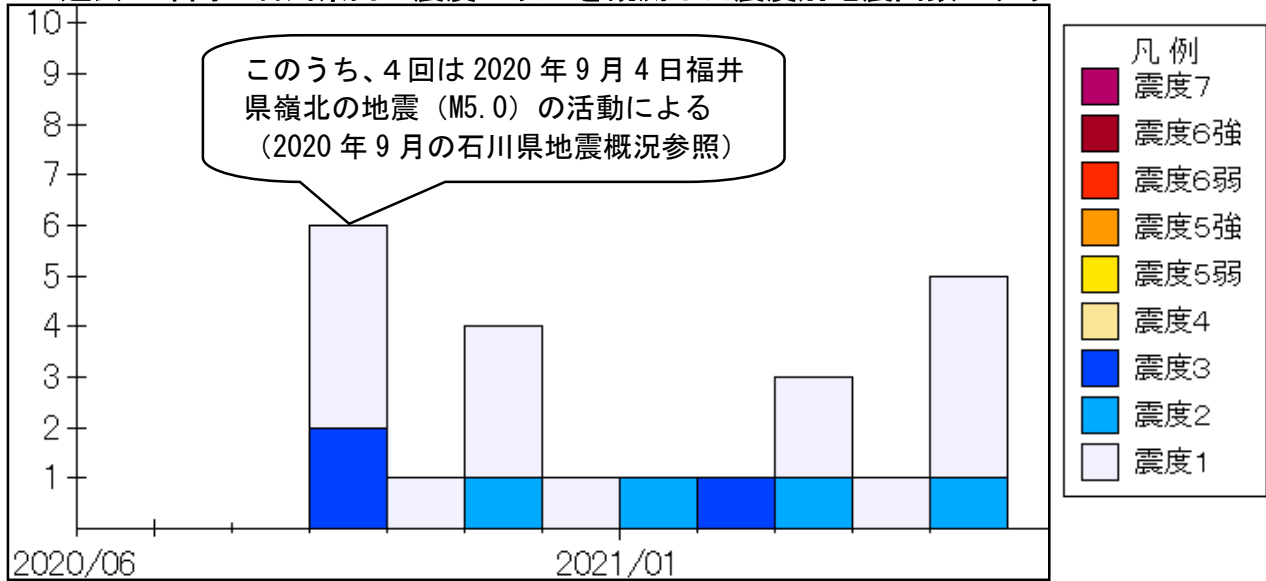


第3図 地震活動経過図

石川県能登地方（第1図の領域a）で、今月は震度1以上を観測した地震は4回でした（先月0回）。4月と比較して5月はややまとまった活動が見られました（第3図）。

1997年10月以降の活動を見ると、領域a内では2018年頃からまとまった地震活動が見られており、活動は継続しています（第2図）。

6. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した震度別地震回数のグラフ



震度階級表

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	-	-
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	-	-
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	-
3	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先

金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryuu.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※2020年4月18日から10月23日まで、及び2021年1月9日以降の地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られることがあります。

6月17日にJアラート等に向けて緊急地震速報の訓練報を配信

消防庁、気象庁では緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

具体的にはJアラート経由等で訓練報を地方公共団体等に向けて配信します。

緊急地震速報は見聞きしてから強い揺れに襲われるまでの時間がごくわずかであり、その短い間に、慌てずに身を守るなどの防災対応をとるためには日頃からの訓練が重要です。また、防災行政無線など防災関連機器が今回の訓練報で適切に動作するかの確認が可能です。この機会にJアラートの動作確認のほか、自治体で住民参加の緊急地震速報訓練をしてはいかがでしょうか。

※今回の訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール（エリアメール）には流れません。（一部のコミュニティFM等を除く）

1. 訓練実施日時と確認作業

令和3年6月17日（木）10時00分頃に気象庁からJアラート等に訓練用緊急地震速報を配信します。下記について動作の確認ができます。

- ・市町村等が実施する防災行政無線の放送
- ・行政機関の建物等における館内放送
- ・専用受信端末を整備された施設の報知

2. 訓練の内容等

訓練に参加される方は、訓練用の緊急地震速報を見聞きしたら、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保」しましょう。

訓練方法等の詳細については、以下の気象庁HPをご覧ください。

- ・緊急地震速報の訓練（令和3年6月17日）

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/kunren/kunren.html>

【緊急地震速報のしくみ】

緊急地震速報は震源に近い地震計が揺れ(P波)を感知し、震源の位置や規模を推定し、震度や強い揺れ(S波)の到達時刻を予測して発表するものです。

また、地震計で強い揺れが検知された時には、周辺の地域にも強い揺れが伝わることが予想されます。こういった場合にも、全自動の素早い情報処理により到達時刻を予測して発表します。

